

【看護キャリア支援システム】

よくあるご質問 (FAQ)

Q1. どんな情報が漏えいした可能性がありますか？

A1. ユーザーID、パスワード、氏名、職員番号、部署、職種、役職、メールアドレス、研修履歴、教材、ラダー情報などです。パスワードも含まれます。

Q2. 対象職員は誰ですか？

A2. 看護キャリア支援システムに登録されている看護職員（退職者を含む）です。対象件数は 1,933 名です。

Q3. 漏えいした情報は悪用されていますか？

A3. 現時点で不正使用は確認されていません。引き続き監視を行っています。

Q4. 自分が対象かどうか確認できますか？

A4. 対象となる方には、郵送またはメールで順次通知しています。

Q5. (拡大防止のため) 発覚時どのような対応をしましたか？

A5. 外部専門機関による調査を実施し、サーバ遮断、パスワード変更、ネットワーク再構成を実施済みです。

Q6. 今後の対応（再発防止策）はどうなりますか？

A6. セキュリティ監視体制の強化や多要素認証の導入を進めています。また、システムは院内ネットワークのみからアクセス可能な閉鎖的運用に移行予定です。

Q7. クレジットカードや金融情報は含まれますか？

A7. 今回の事案では、クレジットカード情報は含まれていません。

Q8. パスワードは漏えいしましたか？

A8. 一部システムではパスワードが含まれます。必要に応じてパスワードの再設定をお願いします。

Q9. 要配慮個人情報は含まれますか？

A9. 含まれておりません。

Q10. 今後の情報はどうやって確認できますか？(今後の対応は？)

A10. 調査結果や追加情報は、徳島大学病院の公式ホームページで随時お知らせします。更新履歴も掲載し、情報の透明性を確保します。

Q11. 問い合わせ方法は？

A11. 公式ホームページの問い合わせフォームをご利用ください。

なお、個人情報の照合ができない場合は、一般的なご案内となる場合があります。

Q12. 不審な連絡や請求があった場合は？

A12. 当院まで速やかにご連絡ください。お問い合わせフォームをご利用いただけます。

Q13. なぜ公表までに約2か月かかったのですか？

A13. 本事案は2025年10月29日に不正アクセスの可能性を確認しましたが、直ちに公表せず、約2か月後の12月22日にお知らせした理由は以下の通りです。

① 影響範囲の正確な特定が必要だったため

不正アクセスの痕跡を確認後、外部専門機関と連携し、アクセスログや通信履歴を精査しました。対象となる患者さん・職員の情報を誤りなく特定するためには時間を要しました。

② 通知体制の整備

公表と同時に対象者へ個別通知を行うため、郵送・メールの準備を整えました。誤送付や情報不足を防ぐため、確認作業に時間を要しました。

今回は、正確性と安全性を優先し、患者さん・職員の不安を最小限にするため、慎重に対応しました。今後は、こうした事案が発生した場合、より迅速な情報提供と透明性の確保に努めます。

Q14. 万一、被害が確認された場合、どのような対応を取りますか？

A14. 当院は速やかに事実確認を行い、必要に応じて警察や弁護士に相談のうえ、適切な対応と補償を検討いたします。

Q15. 警察へは連絡していますか？

A15. はい、徳島県警へ相談しています。

Q16. 万一、被害が確認された場合、補償の内容は決まっていますか？

A16. 具体的な補償内容については、被害の内容や範囲に応じて個別にご説明・対応いたします。

Q17. なぜ手紙で通知するのですか？電話ではダメなのですか？

A17. 個人情報保護法（第26条）とその趣旨に基づき、個人情報保護委員会が公開している「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」では、本人通知について、「本人に確実に届き、内容が認識される合理的かつ適切な方法によること」と明記されています。その具体例として「文書を郵便等で送付」が挙げられています。

また、同委員会の「漏えい等の対応とお役立ち資料（事業者編）」でも、「本人に通知が困難な場合を除き、書面による通知が基本」とされ、電子的方法よりも書面通知が推奨されています。

個人情報保護委員会 ガイドライン（通則編）

個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編） | 個人情報保護委員会 (3-5-4-4 通知の方法)